

笑顔の理由は、ふれあいでした。



みんなでつくる、新しいふるさと①

砺波平野の東南、富山県庄川町にある「ケアポート庄川」は、高齢者介護のあり方を根本から見つめ直して生まれた全く新しいタイプの社会福祉総合施設です。やわらかな陽射しのさしこむ施設の中には、明るく開放的なアトリウム、ワンルームマンションのような居室、トレーニングルームやビジュアルームをはじめとするさまざまな先進設備が整っています。さらに、「ケアポート庄川」の大きな特長は、つねに地域社会との交流が保てるように配慮されている点。地域に住む高齢者の方々はもとより、子供たちも気軽に集える自由な雰囲気を作り出しているため、まわりはいつもにぎやか。ボランティアとしてお世話に駆けつけていた中学1年生の吉森佳世さん、川上貴子さんは、「なにかお手伝いしてあげると、ありがと、ありがとって、みんないっぱい喜んでくれる。それがまたうれしくてもっといろいろなお手伝いをしてあげたくなる。昔話も聞かせてもらえるし、ここに来るのが楽しみなんです」と話してくれました。「ケアポート庄川」は、地域全体のコミュニティゾーンとして機能する一方、知らず知らずボランティアの心を育む場としても効果をあげているようです。生まれ育ったふるさとで、豊かな老後を過ごしたい。ぬくもりあるふれあいの中でいつまでも生きがいをもって暮らしたい。そんな願いをかなえるために、「ケアポート庄川」は、さまざまな人の協力を得ながら、新しいふるさとづくりの拠点として機能しています。

◎ケアポート庄川

21世紀の高齢化社会を見据え、地域の高齢者福祉の発展をうながす目的で、平成4年の4月に日本船舶振興会の協力により完成した社会福祉総合施設。最先端の設備を擁し、入所者のための全80室がすべて個室。施設内には、老人保健施設、デイサービスセンター、老人福祉センターの3つのゾーンがあり、地域のボランティア400人が常時協力する体制も整っています。

